

☆ 答えは全て解答欄に記入しなさい。漢字で書くべき答えは、漢字で答えなさい。

[3] 次の文章を読んで、空欄(1)～に適語を補い、下の問いに答えなさい。

日本など多くの国で採用される資本主義の特徴は、生産財の(1)有と経済活動の(2)で、(3)で価格・生産量などが決定する(3)経済である。

この資本主義の確立は18世紀後半英国の(4)によるとされる。「道具から機械へ」という変革は、綿工業から他業種へと波及していった。この時代を(5)資本主義と呼ぶ。この時代の政策は「(神の)(6)」が働くから、政府は経済に介入すべきでないという(7)政策であった。この時代の国防と治安維持のみを行う国家を批判的に「(8)国家」と呼ぶ。

資本主義の弊害が目立つようになったのが19世紀後半で、その問題とは不況の長期化と深刻化と、それに伴う失業・貧困である。(7)を放棄し、政府が経済に介入することによって解決することを目指すのが、20世紀初めからの(9)資本主義であり、「人たるに値する生活」を保障する1919年ドイツの(10)憲法は、それまで個人の責任とされた貧富の格差に介入するものであった。また1933年(11)政策を提唱したアメリカ大統領の(12)は経済に大規模に介入し、失業者救済や不況脱出を計った。このような現代の国家を「(13)国家」と呼ぶ。『雇用利子及び貨幣に関する一般理論』を著したケインズ 1は、これを支える代表的経済学者である。

これに対し、不況・失業・貧困を資本主義を否定して解決を図るのが社会主義で、生産財の(14)有と(15)経済を特徴として、工業の国有化と農業の集団化 2を進めた。一方で、社会主義は労働者の無気力や非効率性など多くの問題も持ち、1985年、(16)ソ連共産党書記長は立て直し改革を意味する(17)を進めたが、その混乱から1991年ソ連は解体した。中国では鄧小平を中心に、改革開放路線をとって4つの近代化を進めた。農業では生産責任制、工業では(18)・ハイナンなどに(19)を設け、今では「世界の工場」と呼ばれるほどの急成長を遂げた。

問1 下線部1 ケインズの考えを説明した次の文章の空欄(a)～に適語を答えなさい。

ケインズは、不況の原因を金銭的裏付けのある(a)需要が不足しているからであると考え、政府自ら(a)需要を創出すべきことを説いた。公共事業が「景気呼び水」となって、その波及によってその何倍もの需要が生まれることを(b)効果と呼ぶ。

問2 下線部2 農業の集団化について、旧ソ連の国営農場はソフホーズと呼ばれた。ソ連の協同組合的集団農場は何と呼ばれたか。

問3 次の表は経済学をまとめたものである。空欄(a)～に適する語句を下から選び、記号で答えなさい。

経済学派	時期	代表的人物 著作と特徴
(a) 主義	16世紀頃	輸出を増やし、国内の金銀を増やそうとする (b)『外国貿易によるイギリスの財宝』
(c) 主義	18世紀半ば	農業こそ富の源泉であると主張 (d)『経済表』

(e) 学派	18世紀後半	レッセ・フェール 自由貿易 労働価値説 (f)『諸国民の富』 (g)『人口の原理論』 (h)『経済学原理』
(i) 学派	19世紀半ば	国内の幼稚産業を守るため、保護貿易政策を主張 (j)『経済学の国民的体系』
近代経済学	19世紀後半	経済を数量的に把握
		限界効用・ワルラス・メンガー・ジェボンズ
		ケインズ学派 ケインズ 『雇用利子および貨幣に関する一般理論』
		マネタリズム・(k)ら、金融政策で景気調整

ア 古典                      イ 重商                      ウ 重農                      エ 歴史                      オ 計量経済  
カ 数量                      キ A・スミス                      ク マルクス                      ケ ケネー                      コ T・マン  
サ マルサス                      シ J・S・ミル                      ス リカード                      セ リスト                      ソ フリードマン

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	

問1 a	b	問2	問3 a	b
c	d	e	f	g
	h	i	j	k
年	組	番	名前	



